

2023 年度 事業報告及び決算

自 2023（令和 5 年）年 4 月 1 日

至 2024（令和 6 年）年 3 月 31 日

1 事業の成果とお礼

当法人は、今年度で 10 年目の節目を迎えます。任意団体「宮崎冒険遊び場ひみつきち」の時から、ここまで支えていただいた全ての方に感謝申し上げます。そして、会員の皆様、支えていただいた全ての個人、団体の方々に厚くお礼申し上げます。

設立から出会ってきた子どもたち、そして設立のきっかけになった子どもたちの姿や表情など、忘れられない思い出が脳裏に焼き付いています。わたしたちが彼らに何ができただろう、何か良い変化をもたらしたことが 1 つでもあったのかと自問自答のような複雑なおもいが浮かんでは消えています。その中で、ただひとつ、わたしたちが導き出したゆるぎない確信のようなもの、それは、当法人の理念でもある「子どもには育つ力がある」ということを信じることの重要性です。私たちスタッフが、子どもたちと共に悩んだ時に必ず立ち戻るのがこのテーマでもあります。子どもたちは誰もが純粋で、必ず今より良くありたいと願う大変素晴らしい存在であると同時に、誰もが未来を切り拓いていける力を持っていると確信することができた 9 年間だったと思います。恐らく、子どもの力を奪っているのは社会全体であり、どうしようもない理由で負のスパイラルの中にいることもあるのだと、多くの子どもたちとの出会いをとおして気が付くことができました。特に、コロナ禍後、子どもたちの豊かな遊びを地域に広げる中で「孤立」が背景にある様々な問題が見えるようになりました。経済的な家庭背景に関係なく、現代の子どもたちは時間・空間・仲間の変容により、いのちが育まれる「遊ぶ」という機会が失われています。昨年は宮崎県で 19 歳以下の自殺が過去最多の 9 人となりました。まだ目には見えないコロナ禍の影響を受けた子どもたちを取り巻く社会問題が続いています。人と人との繋がりがいかに大切であるか、子どもの権利がいかに後回しになっていたかなど私たち大人は反省するべきだと考えています。

休眠預金活用事業の助成を受けて活動したこの 2 年間、このコロナ禍で孤立してしまっている子どもたちのために、「遊び」を保障する子どもの居場所を、東諸県郡国富町と宮崎市高岡町に 2 か所増設することができました。まだ運営予算に課題が残るものの、子どもたちに「遊び心」を甦らせる環境づくりは、まさに子ども中心に社会を変えることができるインパクトがあり、保護者も地域も含めてエンパワーできることがわかってきたと感じています。この 2 年間で READYFOR（株）、認定 NPO 法人 Learning For All、そして認定 NPO 法人キッズドアの皆様の伴走支援も法人の基盤強化に繋がり、法人のこれからの役割についても再定義できる大きな機会となったと感謝しています。それぞれの活動の詳細な報告については、2 冊の活動報告書（※別冊）ご覧になっていただけると幸いです。身近な子どもたちの「今、幸せ」を保障するために行政や地域資源と連携し、福祉と教育を繋ぐ「人」と子ども中心の「場」を育てることができたと同時に、これからの課題も見えてきた 1 年の活動を下記のとおり報告いたします。

2 事業報告

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
○子どもの居場所事業※前年度までは、冒険遊び場事業 ○子どもの虐待一時保護施設設置、緊急支援マニュアルについては、休眠預金活用事業報告書参照	(1) おそとであそぼう！小松台プレーパーク 2023 内容：冒険遊び場 子どもゆめ基金助成金事業、県教育委員会後援、小松台まちづくり委員会・小松台ハイランド自治会・小松台小学校協力	(A) 令和5年4月12.19.26日.5月10.17.24日.6月7.14.28日、7月5.12.19.26日計13日間開催 14:00～17:30 (B) 宮崎市小松台公園 (C) 7名、都城ユネスコスクール、大学生ボランティア ※スタッフは18時まで	(D) 全ての子どもと保護者と地域住民 (E) 延1,330人 ○ユニーク数：130人以上
	(2)小松台プレーパーク 2023 内容：冒険遊び場 休眠預金活用事業「不登校児支援から虐待を防ぐ包括的支援事業—居場所を広げ、予防と支援のできる地域へ」 コロナ物価高で増える「虐待」を防ぐ緊急居場所支援事業—「事後対応」から「未然予防」へフェーズを変える— 資金分配団体：READYFOR(株)・認定NPO法人 learningforall ※以下、休眠預金活用事業(RF・LFA)と表記 ○小松台まちづくり委員会・小松台ハイランド自治会・小松台小学校協力	(A)令和5年9月4.6.11.13.20.25.27日、10月2.4.9.11.16.18.23.25.30日、11月1.6.8.13.15.20.22.27.29日、12月4.6.13.18.20日、令和6年1月4.6.13.18.20日、2月5.7.14.19.21.26.28日、3月4.6.11.13.18.25日 ※令和4年9月～令和6年2月28日は助成金活用、3月は無償ボランティアで開催した。 毎週月曜・水曜日計41日間開催 13:00～17:30(10月中旬から17:00まで) (B) 宮崎市小松台公園 (C)) 8名、都城ユネスコスクール、大学生ボランティア ※スタッフは18時まで	(D) 全ての子どもと保護者と地域住民 (E) 延4,004人 ○ユニーク数：130人以上

(3)むかさ・こどもの居場所「フルフル」※新規事業 内容：遊びを通した学習支援、芸術活動、生活支援 休眠預金活用事業(RF・LFA)、高岡町宮水流地区自治会、穆佐小学校、ギャラリー鬼楽 鬼塚良昭協力	(A)9月4.6.11.13.20.25.27日、10月2.4.11.16.18.23.25.30日、11月1.6.8.13.15.20.22.27.29日、12月4.6.11.13.18.20.25.27日、1月10.17.19.22.24.29日、2月14.19.21.26.28日 上記、休眠預金活用助成金を活用した開催日(令和4年9月～令和6年2月28日)、3月は無償ボランティアで開催した、長期休みを除く毎週月曜・水曜日、計43日間開催 (B)フルフル(ギャラリー鬼楽) (C)3名、外部講師2名、単発外部講師3名	(D)全ての子ども (E)延824人 ○ユニーク数：30人
(4)フルフル子ども食堂、おやつタイム 内容：子ども食堂 休眠預金活用事業(RF・LFA)、高岡町宮水流地区自治会、穆佐小学校、ギャラリー鬼楽 鬼塚良昭協力	(A)9月27日、10月11日、11月8日、12月20日、令和6年1月17日、2月21日、3月27日計6回間開催 17:00～19:00 ごろ (B)フルフル (C)3名、調理師1名	(D)全ての子ども (E)延171人 ○ユニーク数30名
(5)三股体験プレーパーク、プレーパーク 内容：冒険遊び場、人材育成 休眠預金活用事業(RF・LFA)、ヤマログ企画(委託先)、三股町社協、タテヨコナナメゆう学校	(A)9月16日～1月26日不定期開催計9回開催 (B)三股町第2地区公民館横場、三股町社協横広場、輪島など (C)2名、外部講師1名、	(D)全ての子どもと大人 (E)延386人(内、体験プレパ60名)

	スタッフ、地域住民のボランティア協力		
	(6)こうえんのめざめ 公募設置管理制度 (Park-PFI) トライアル サウンディング	(A) 6 月 25 日(日)10:00～ 15:00※雨天 (B) 宮崎市栄町児童公園 (C) 2 名、街中ピクニート、 oeuflab、	(D)全ての子 どもと大人 (E)延 100 人以上
○中間支援、講演 会、プレーワー カー養成、勉強 会、研修	(1) 中間支援事業 ア. 宮崎市子どもの冒 険遊び場（プレーパー ク普及モデル事業 ・令和 5 年 NPO と連携 したこどもの居場所づ くり支援モデル事業委 託	(A) 講演会：令和 5 年 12 月 2 日 19:00～20:30 「遊びで育つこどものカー 居場所に関わる大人の役割 一」講師：PLAYFUKUOKA 代表 理事古賀彩子氏 (B) 宮崎市民プラザ 4F ギャ ラリー (C) スタッフ 6 人 (A) ワークショップ：令和 5 年 12 月 3 日 10:00～12:00、 「プレイワークとアドボカ シーの基礎講座—大人の役 割と子どもの育ちを考える 一」講師：PLAYFUKUOKA 代表 理事古賀彩子氏 (B) 宮崎大学地域デザイン棟 (C) スタッフ 6 人 (A) 相談業務、活動報告書作 成、アンケート実施と集計他 令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月下旬 (B) 事務局 (C) スタッフ 3 人 (A) 体験プレーパーク	(D) 子どもの遊び 場づくりに興 味のある大人、 学生、乳幼児の 保護者など (E) 83 名 ○受講修了者にス テッカーを配布 (D) 子どもの遊び 場づくりに興 味のある大人、 学生、乳幼児の 保護者など (E) 43 名 ○受講修了者に缶 バッチを配布 (D) プレーパーク に興味のある 方、実践団体な ど (E) ユニーク数 15 人 (D) 実践団体：なな

	①座学「プレーパークを見守る大人のこころえ及びリスクマネジメント研修」:令和6年2月11(月) 10:00~11:30 講師:山下朋子 (B) 田野町文化会館 (C) スタッフ1人、Gレコーダー1人 ②実践「TANO 体験プレーパーク」:令和6年2月11(月) 12:00~15:30 (B) JR 田野駅広場 (C) スタッフ9人 後援:宮崎県教育委員会 ③リフレクション:令和6年2月13日(火) 19:30~21:00 (B) リモート形式 (C) ファシリテーター兼講師1人 ※活動報告書参照	いろ自然楽校 協力:田野まちづくり協議会 (E)①11人②78名③3人
イ. 三股プレーパーク人材育成事業 休眠預金活用事業(RF・LFA)、ヤマログ企画(委託先)、三股町社協協力	(A) 講演会・WS:令和6年8月19日 19:00~20:30、9月15日「プレーパークとは?」「子どもの権利、リスクマネジメント研修」等、看板づくりなどのWS計7回、講師:前田浩志、山下朋子含む (B) 三股町輪島、ひかりの森こども園児童クラブ (C) スタッフ2人	(D) プレーパークに興味のある方、タテヨコよる学校、三股町社協、地域住民など (E)延べ386人、ユニーク数40人 ○見守りスタッフ人材育成5人
(2) 講演会 ①すみれ保育園 ②宮崎南学園 宮崎保健福祉専門学校 ③多様な学びネットワーク ④子どもとメディア	(A) ①③「外遊びと子どもの育ち」②④「自然遊びに癒されるこどもたち」 (B) ①延岡②九州医療福祉専門学校③リモート形式④宮崎市男女共同参画パレット	(D)主催者把握 (E)主催者把握

	アみやざき	(C) 1 名	
	(3) 視察、協議	(A) 令和 5 年 4 月～令和 6 年、年間 10 回程度 ○協議については随時、協議 先：市議、県議、行政、NPO 等	(D) 活動に興味のある個人、団体、SSW、綾町・西都市教育委員会等、瓜生野小学校、綾小学校、日向学院中学校等 (E) 30 人程度
	(4) PW・スタッフのスキルアップ ①小松台プレーパークスタッフ研修 ②森のがっこうスタッフミーティング勉強会 ③東京・大阪合同研修会、休眠預金活用事業 (RF・LFA)	(A) ①令和 5 年 4 月 10 日スタッフ研修、リスクマネジメント研修 10:00～12:00②令和 5 月～令和 6 年 3 月、②森のがっこうリフレクション、リスクマネジメント研修、救急救命研修：毎月末 1 回から 2 回③安心・安全な居場所運営体制づくり～虐待が疑われる子ども発見時の対応を中心に～など 3 回の研修 (B) ①吉村邸②森のがっこう③リモート形式、都内 LFA 子どもの学習・生活支援施設、大阪研修施設 (C) ①7 名②12 名③3 人	(D) ①②③PW、見守りスタッフ、自然体験イトラ (E) 30 人程度
○自然体験活動事業	自然体験 2023！海のヒミツキチ ※台風のため 3 日中止した。 子どもゆめ基金助成金事業	(A) 令和 5 年 6 月 10. 18. 25 日、9 月 9. 16. 30 日、10 月 7. 21. 28 日の 9 日間いずれも 10:00～16:00、富士地区自治会、ハダシ、日南市観光、日南市教育委員会協力 (B) 日南市富士海水浴場 (C) 6 名	(D) 小学 3 年～6 年生と兄弟姉妹と保護者 (E) 138 人

○不登校児のための包括的支援事業	子どもの居場所の提供と体験格差をなくすための地域連携支援事業 「ヒミツキチ森のがっこう」令和4年度WAM助成（補正予算事業） 「コロナ禍における生活困窮者、ひきこもり状態にある者及び生活困窮家庭の子ども等の支援に係る民間団体活動助成事業」 (2)不登校児相談支援、オープンダイアログ型相談支援、森の体験キャンプ、休眠預金活用事業（RF・LFA）○みやざきこどもサポートリンク協力	(A) 自然体験活動、芸術活動 令和5年4月11日～令和6年3月26日、祝祭日を除く平日3日（火・木・金、海の活動は希望者のみ土曜日108日間開催10:00～15:00 (B) 東諸県郡国富町深年周辺の森と川（法華獄公園近く）、日南市富士地区 (C) 7名、外部講師2名※スタッフ1人に対して児童3～4名見守り配置、18定員16人 ※活動報告書参照 (A) 令和5年9月～令和6年2月随時開催10:00～15:00の2時間程度※オープンダイアログ型の相談支援については、子どもからの相談のみ (B) 森のアトリエ (C) 2名、外部カウンセラー	(D) ①②不登校児又は兄弟姉妹と保護者・学校行き渋りの児童、ひとり親世帯・低所得世帯の児童 (E) 延1,412人 ユニーク数72人 (D) 不登校児の保護者と本人 (E) 延38人
-------------------------	---	--	--

(2) その他目的を達成するために必要な事業
なし

科 目		金 額		
I	経常収益			
	1 会費収益			
	入会金収益	7,000		
	正会員費収益	85,000		
	賛助会員費収益	57,000	149,000	
	2 受取寄付金			
	受取寄付金	728,400	728,400	
	3 補助金・助成金事業			
	補助金助成金収益	27,024,420	27,024,420	
	4 事業収益			
	受託事業収益	988,960		
	講師謝金収益	166,254		
	参加費収益	138,000		
	雑収入		1,293,214	
	5 その他収益			
	受取利息	11	11	
	経常収益計			29,195,045
II	経常費用			
	1 事業費			
	(1)人件費			
	役員報酬	2,935,773		
	常勤職員給料	509,200		
	非常勤職員給料	5,699,420		
	職員賞与	-		
	賞与引当金繰り入れ	-		
	退職給付費用	-		
	法定福利費	43,006		
	人件費計	9,187,399		
	(2)その他経費			
	謝金	1,994,530		
	旅費交通費	1,064,401		
	備品消耗品費	616,633		
	消耗品費	3,708,379		
	通信運搬費	72,295		
	図書研修費	374,310		
	印刷製本費	350,430		
	水道光熱費	24,155		
	保険料	51,180		
	地代家賃	675,640		
	活動管理費	-		
	広告宣伝費	497,500		
	業務委託費	774,400		
	支払手数料	492,762		
	租税公課	-		
	会議費	-		
	車両燃料費	33,167		
	雑費	-		
	その他の経費計	10,729,782		
	事業費計		19,917,181	
	2 管理費			
	謝金	5,000		
	旅費交通費	53,770		
	通信運搬費	49,366		
	消耗品費	13,292		
	地代家賃	400		
	租税公課	8,700		
	印刷製本費	1,850		
	減価償却費	379,679		
	保険料	-		
	支払手数料	102,317		
	会議費	-		
	広告宣伝費	-		
	諸会費	25,000		
	車両燃料費	19,240		
	図書研修費	2,193		
	雑費	21,500		
	管理費計	682,307	682,307	
	経常費用計			20,599,488
	当期経常増減額			8,595,557
	当期正味財産増減額			8,595,557
	前期繰越正味財産額			3,330,170
	次期繰越正味財産額			11,925,727

貸借対照表
令和6年3月31日 現在

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,727,527		
立替金	98,900		
前払費用	-		
棚卸資産	-		
流動資産合計		4,826,427	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	1,504,800		
建物付属設備	5,405,886		
什器備品	197,168		
有形固定資産計	7,107,854		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
固定資産合計		7,107,854	
資産合計			11,934,281
II 負債の部			
1 流動負債			
役員借入金	0		
前受金			
預り金	8,554		
流動負債合計		8,554	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			8,554
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,330,170	
当期正味財産増減額		8,595,557	
正味財産合計			11,925,727
負債及び正味財産合計			11,934,281

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
手元現金	181,606		
宮崎銀行普通預金	1,042,672		
宮崎銀行決済性預金	973,932		
paypay銀行決済性預金	2,529,317		
ゆうちょ銀行普通預金	-		
立替金	98,900		
前払費用	-		
流動資産合計		4,826,427	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	1,504,800		
建物付属設備	5,405,886		
什器備品(ノートパソコン)	197,168		
有形固定資産計	7,107,854		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	-		
固定資産計		7,107,854	
資産合計			11,934,281
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	8,554		
前受金	-		
前受助成金	-		
役員借入金	-		
流動負債計		8,554	
2 固定負債			
固定負債計		-	
負債合計			8,554
正味財産			11,925,727

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	1,672,000			1,672,000	167,200	1,504,800
建物付属設備	909,866	4,809,658		5,719,524	313,638	5,405,886
什器備品	175,118	236,600		411,718	214,550	197,168
合計	2,756,984	5,046,258	-	7,803,242	695,388	7,107,854

3. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期首残高
役員借入金	-	0	-	0
合計				0